前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)										
A DOWAエフテック株式会社   〒 708-1523   岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045番地										
本票作成部署名:環境保安室										
主たる業種 <sup>分類</sup> コード 16 業種名:化学工業										
事業の 概 要										
県内の	番	号	工場等の名称				所 在 地			
	(1	一柵	柵原工場			Ī	岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1045-6番地			
	2	塩	塩田倉庫				岡山県和気郡和気町塩田314番地			
主な	(3	物物	物流センター				岡山県和気郡和気町矢田1004番地			
工場等										
特定事業	者	<u> </u>	然料等原油換算1,5	500kl以	.上 <u></u> ②バス	<ul><li>トラック1(</li></ul>	00台、タクシー250台以上 🗌 ③CO₂換算3,000t見	以上		
の該当要	件	( • -	L場等の数		3 所	●車	車両台数(②該当の場合) 台	·)		
担党効用 +	ギフ	甘淮年		年度)	( <b>今</b> 和	2 )	)年度排出量 目標年度(令和 6 年	座)		
		基準年度(令和 元 年度) ( 令和 10.282 t CO					2     )年度排出量     目標年度(令和 6 年度)       8,470 t CO <sub>2</sub> 9,768 t CO <sub>2</sub>			
排出量		10,282 t CO <sub>2</sub> 番号 工場等の名称					(令和 2 ) 年度排出量			
	-	番号工場等の名称① 柵原工場					8,458 t CO <sub>2</sub>			
	-	2	塩田倉庫				8, 458 t CO <sub>2</sub> 4 t CO <sub>2</sub>			
主な工場							8 t CO <sub>2</sub>			
の排出量	:	0					t CO <sub>2</sub>			
	-						t CO <sub>2</sub>			
	-						t CO <sub>2</sub>			
							t coz			
	i o	計画其	期間: 令	和 2	2 年度	$\sim$	令和 6 年度 ( 5 箇年度	度)		
削減目標   達成状泡			総排出量基準	( 2	2 ) 年度的	削減実績	責 目標削減率 目標達成			
22/94/11		✓	原単位基準		5. 5	%	5.0 %[☑達成 □未	達		
/		温室効	果ガスの排出量と密	接な関	係をもつ値の内	容	原単位当たり排出量			
(原単位基 の削減目標							基準年度 ( 2 )年度 目標年度			
選択してい 場合に記入	る	る   生産数量(ton/年)					0. 951 0. 899 0. 903			
場可に配入	.)						$t c_{02}/(t) t c_{02}/(t) t c_{02}/(t) t$			
(該当事業者のみ記入)										
ベンチマーク		<b>八家事来の自由</b>			ベンチマー	ク指標	指標 関連数値(令和 2 年度) 達成率等			
指標の状	沈									
【削減状況の自己評価】										

・省エネ法の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取りくんだ。 2019年度から2020年度前半は、世界的市場の景気降下により生産減、2020年度前半は新型コロナ影響により生産減を強いられた。2020年度全体では、エネルギーに係る大きな設備投資はなかったが、生産性を向上させるために、設備故障低減に力を入れ生産性を上げた。また、生産性の悪い銘柄及び設備は、計画生産を行い立上げ、立ち下げを少なく行って来た。その結果、温室効果ガス排出量の削減1%/年削減において、5.5%の削減となった。

引き続き、稼働条件や運転温度の適正化などにより省エネに努める。

今後とも、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

## 【推進体制】

- ・ISO14001 : 2004年3月認証取得
  ・エネルギー効率向上及び生産設備維持管理のための設備検討組織の活動継続
  ・設備の突発故障による稼働率低下防止活動(保全会議) (保全会議)
- ・設備稼働効果率による活動(保全会議)
- ・エネルギー原単位状況確認(HOD会議)

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】							
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容						
柵原工場	(2020年度実施分) ・エネルギー効率向上及び生産設備維持管理のための取組 ・設備の突発故障による稼働率低下防止活動 ・設備稼働効果率による活動						
	(今後実施予定分) ・リジェネバーナー導入による燃料原単位改善 (CO2削減量104t/年) ・燃料転換による燃料原単位改善 (CO2削減量2t/年) ・AK3号更新による燃料原単位改善 (CO2削減量104t/年) ・エネルギー効率向上及び生産設備維持管理のための設備検討 ・設備の突発故障による稼働率低下防止活動 ・設備稼働効果率による活動						
【森林保全等吸収源対策への	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
県内で の取組 無							

【森林保全等吸収源対策への取組】							
県内で の取組	無						
その他	無						
【再生可能エネルギーの導入】							
県内で の取組	無						
その他	無						
【その他特記事項】							

「フの地性到す項」	
【その他特記事項】	